

新副都心の高度情報化ビル

南大井ビル

INTELLIGENT BUILDING

京浜急行・立会川駅へ徒歩3分の絶好地。

再開発で活気付く副都心大井町に高度情報化ビル誕生。

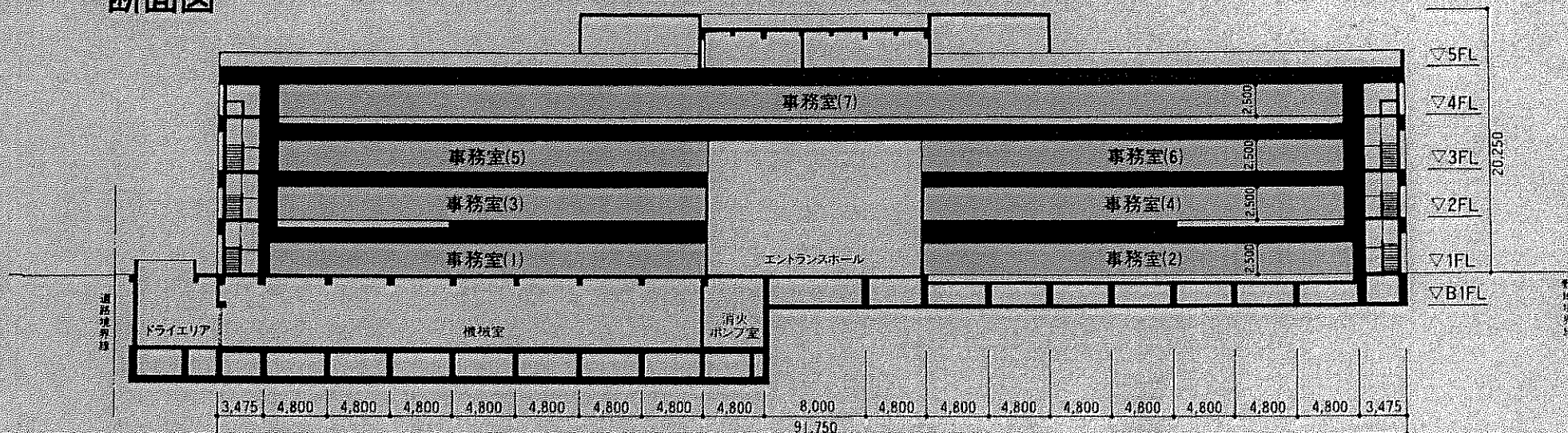
情報化社会の熱いニーズに対応、スーパーコンピュータの導入に備え
免震床をフリーアクセスゾーンに設置できる高度情報化ビルの誕生です。

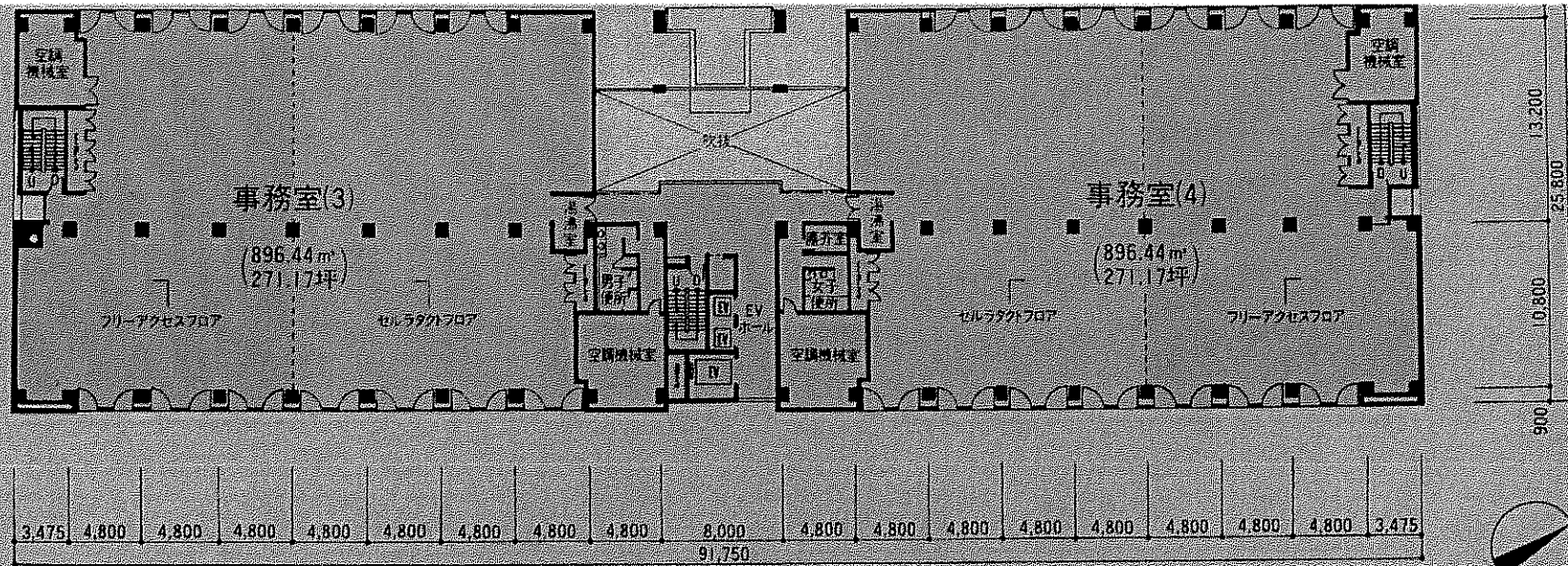
当ビルのロケーションは、京浜急行・立会川駅へ徒歩約3分。

東京モノレール大井競馬場駅へ約8分、首都高速1号線勝島インターも近く。

コミュニティセンターの完成を間近に控えた大井町駅前再開発や
大井プレイス構想で活気付く新副都心が貴社のビジネス拠点になります。

断面図





■理想的なモジュール寸法で自由なレイアウトを。

各種OA機器の導入、快適なビジネスワークに比べられるよう、オフィス内は3.2m×3.2mのモジュール寸法を採用。奥行き12mを確保、豊かな空間と機能的な環境を創造しています。オフィスレイアウトは思いのままです。

■地震からOA機器をガードする免震床対応。

OA武装を第一に考える先端企業のために、床面をフリーアクセス550mmにし、オプションで免震床を設置できる構造にしています。スーパーコンピュータの設置さえも可能な、先進オフィスの登場です。

■ビルディング・オートメーションは24時間体制。

空調・照明・防災など全ての設備を、コンピュータがトータルにコントロールします。空調・照明の消し忘れ防止も万全です。また、全館のセキュリティも中央監視盤により24時間体制で機能。安全性と快適性の確保につとめます。

■居住性においては最高のタイルカーペットを採用。

吸音・断熱・クッション性など居住性を重視し、フロアにはタイルカーペットを全面的に採用。もちろん豪華さ、風格も申しぶんありません。メンテナンスもしやすいため、美しさ、清潔さが半永久的に持続します。

■万全の省エネ対策。コストダウンを総合的に追求。

コンピュータ室の発熱を暖房の熱源として利用する熱回収形冷熱機の設置や、常用の自家発電による廃ガス・ラジエーターの発熱を利用して冷暖房を行うなど、エネルギーの有効利用を積極的に行い、省エネ対策につとめています。

■ホストコンピュータの設置に対応、床荷重500kg。

オフィスフロアの床荷重は、通常ビルの300kgを遥かにクリアする400kgを確保。さらにフリーアクセスゾーンは、500kgの荷重に耐えられます。情報化社会の熱いニーズに応えた特別仕様です。

■インテリジェント・ニーズに応えた電源配線システム。

OA機器・多機能電話・ホストコンピュータ・デジタル交換機など、さまざまなインテリジェント機器の利用に対応するため、電源容量、配線方式（3ウェイセルラゲクト）についても配慮し、光ファイバーの配線にも対応できます。

